2023 年度版

環境経営レポート

対象期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

櫻護謨株式会社

発行番号:ＥＡ－２４０４７
発 行 日:2024 年 7 月 31 日

１．組織の概要

（１）名称及び代表者名

櫻護謨株式会社

代表取締役社長　中村　浩士

（２）所在地

本　店　　：〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1 丁目 21 番 17 号

関連事業所及び所在地

本　社　　：〒151-8587 東京都渋谷区笹塚 1 丁目 48 番 3 号笹塚太陽ﾋﾞﾙ

大田原製作所：〒324-0045 栃木県大田原市実取 799 番地（大田原営業所含）

名古屋営業所：〒451-0046 名古屋市西区牛島町 5 番 21 号富士工名駅ﾋﾞﾙ

大阪営業所：〒530-0037 大阪市北区南森町 1 丁目 2 番 25 号南森町 is ﾋﾞﾙ

福岡営業所：〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2 丁目 5 番 11 号ｺｽｷﾞ Ｉﾋﾞﾙ

（３）環境管理責任者及び連絡担当者

環境管理責任者：常務取締役　遠藤　聡

連絡担当者　　：総 務 部　　川勝　誠

TEL：03-3466-2171　FAX：03-3460-4910

（４）対象者

当社の従業員、派遣社員、パート社員及びサイト内の協力会社の従業員

（５）事業規模

従業員数：　　301 人

敷地面積：　69,835 ㎡（対象エリア合計）

（６）事業活動：　消防用ホース製造販売、消防・防災資機材の仕入れ販売

航空宇宙機器のゴム・金属部品の製造販売（シール・ダクト・金具・配管・ホース）

石油備蓄タンクシール、水門水止めゴム等工業用品製造販売

（７）売上高：121 億円（2023 年度｛不動産事業を除く｝）

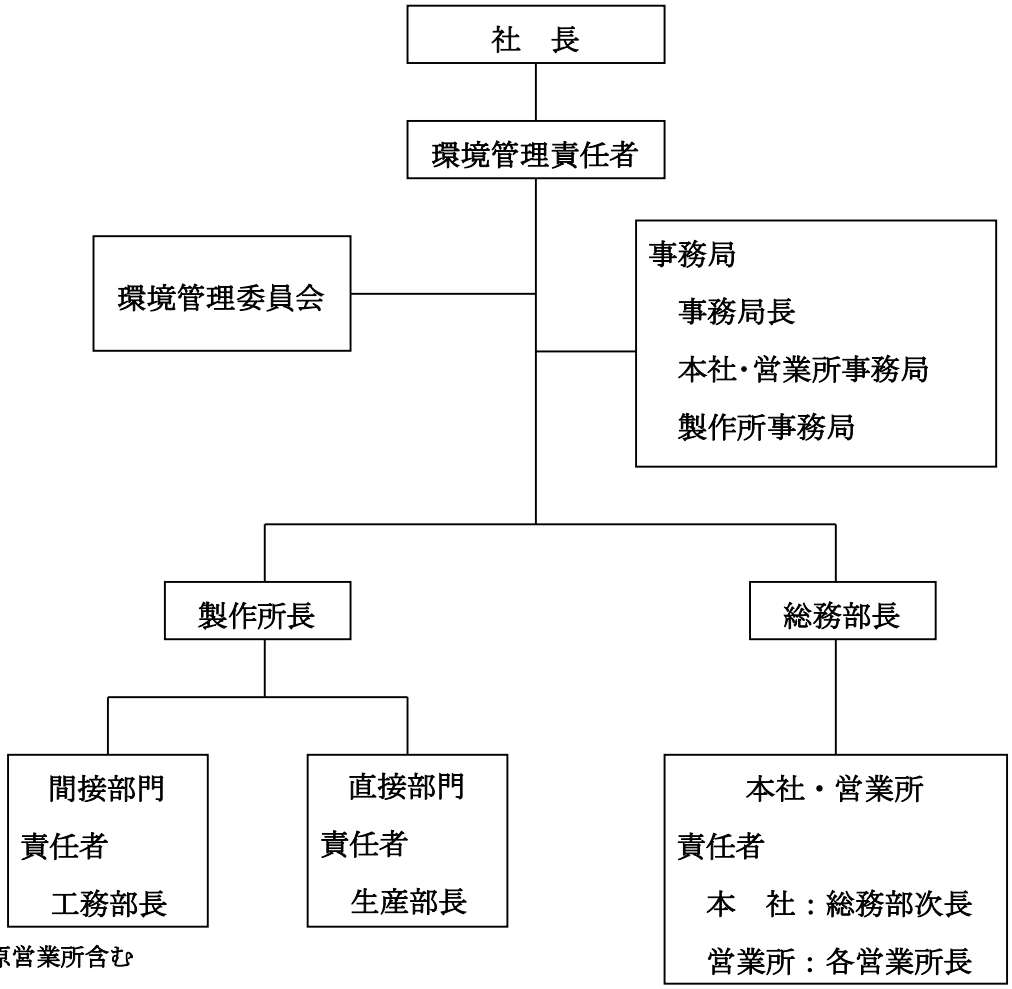
２．対象範囲（認証・登録範囲）

（１）対象組織

櫻護謨株式会社　全組織

詳細は２頁（2）所在地による。

環境マネジメントシステムの組織



大田原営業所含む

（製作所の直接部門は生産部、間接部門はそれ以外）

（２）対象活動

当社の全ての活動を対象とする。

詳細は、２頁（6）事業活動に示す。

３．環境経営方針

環境経営方針

櫻護謨株式会社は、航空宇宙機器、消防機器、防災機器、一般工業ゴム製品等幅広く製造販売している会社である。

その製品は、世界の空に海に陸に活動する航空機、船舶、車輌等に装着され機能を発揮し顧客のニーズに応えている。

一方、消防ホースを始めとする消防防災機器は、各地において災害の拡大防止、人命の救助に役立っている。

当社は、企業活動と地球環境の調和を目指し、環境保全への積極的な取組を通して、豊かな社会の実現のため、以下の方針を定める。

１．環境への負荷の少ない循環型社会実現に寄与するため、製品の開発・設計の段階から生産・物流、廃棄などの全段階における環境負荷低減に努める。

２．環境負荷を常に認識するとともに、関連する法規・条例・協定及びその他の要求事項を遵守し、環境汚染の防止に努める。

３．当社の環境側面の内、次の項目に重点をおいて取り組む。

・省エネルギー活動（電力、燃料等の省エネ）
・省資源活動（水、紙使用量の削減）
・有害物質類の使用を抑制し、環境調和型の製品づくりを推進する。
・廃棄物の削減と再利用化を推進する。
・グリーン購入の推進。
・不良品発生撲滅、歩留まり向上によるムダの削減（品質の向上）

４．地域や社会との交流を図り、コミュニケーションを推進し、相互理解を深めると共に、環境保護活動に積極的に協力する。

５．全社員に対して教育・啓発活動を行い、環境保全意識の高揚を図る。

平成 24 年 4 月 2 日

櫻護謨株式会社

社長　　中村　浩士

４．環境経営目標

環境経営目標

（2021 年度～2023 年度）

全社環境経営目標（中期 3 年）を下記の通り定める

		2023 年度最終目標
1.	廃棄物の削減	
	・可燃物の削減（総量評価）	基準値の維持
	・廃プラの削減（原単位評価）	基準値の維持
2.	水使用量の削減（総量評価）	基準値の維持
3.	電力使用量の削減（原単位評価）	基準値の 3%減
4.	ガソリン使用量の削減	基準値の 3%減
	（大田原：総量評価、本社･営業所：原単位評価）	
5.	軽油使用量の削減（総量評価）	基準値の 3%減
6.	灯油使用量の削減（総量評価）	基準値の 3%減
7.	重油使用量の削減（原単位評価）	基準値の 3%減
8.	化学物質使用量の削減（原単位評価）	基準値の維持
9.	グリーン購入の推進	基準値の維持
10.	製品及びサービスにおける環境配慮	品質目標による

＊削減目標に対しては、単年度目標：1%減目安

注記：基準値は、2020 年度の実績値とする。

原単位の分母は、大田原：加工生産高、本社･営業所：売上高とする。

令和３年４月１日

櫻 護 謨 株 式 会 社

取締役社長　中村 浩士

各種削減目標（2021 年度～2023 年度）

項目		単位	基準値 2020 の 実績値	目標値 2021 年度	2022 年度	2023 年度
廃棄物　一般(可燃)		総量(t)	13.09	13.09	13.09	13.09
廃プラ		原単位(kg/千円)	0.086	0.086	0.086	0.086
水		総量(㎥)	92,502	92,502	92,502	92,502
電力	大田原	原単位(千 kWh/千円)	1.711	1.694	1.677	1.660
	本社･営業所	原単位(kWh/百万円)	16.412	16.248	16.084	15.920
ガソリン	大田原	総量(L)	4,028	3,988	3,947	3,907
	本社･営業所	原単位(L/百万円)	2.756	2.728	2.701	2.673
軽油		総量(L)	3,566	3,530	3,495	3,459
灯油		総量(L)	18,355	18,171	17,988	17,804
Ａ重油		原単位(L/千円)	0.284	0.281	0.278	0.275
グリーン調達	大田原	品目数	57 品目	57 品目	57 品目	57 品目
	本社	品目数	102 品目	102 品目	102 品目	102 品目
製品･サービス(不良低減)		件数	35 件	35 件以下	35 件以下	35 件以下
トルエン		原単位(kg/m)	0.479	0.479	0.479	0.479
CO_2	電力	(t)	1,067	1,053	1,046	1,035
	ガソリン		67.2	66.5	65.9	65.2
	軽油		9.4	9.3	9.2	9.1
	灯油		45.7	45.2	44.8	44.3
	Ａ重油		1,208	1,196	1,184	1,172
	合計		2,479	2,454	2,429	2,405

・削減項目の目標値　　2021 年度１%減、2022 年度２%減、2023 年度３%減

・原単位の分母は、大田原：加工生産高、本社･営業所：売上高とする。

・電力のCO_2排出量は、令和 5 年 12 月 22 日環境省公表（令和 6 年 7 月 12 日更新）の令和 4 年度各電力会社の調整後排出係数を適用して各事業所ごとに算出し合算した数値です。

CO_2排出係数　東京電力　0.376kg－CO_2/kWh

中部電力　0.440kg－CO_2/kWh

関西電力　0.420kg－CO_2/kWh

九州電力　0.462kg－CO_2/kWh

５．環境活動計画

	項　目	実行施策・取組手段
1	廃棄物の削減 （一般、廃プラ）	・裏紙の再利用 ・コピー・プリントの無駄をなくす ・不良率の低減 ・歩留まりの低減
2	水使用量の削減	・必要量のみ使用の意識付け ・水漏れの根絶
3	電力使用量の削減	・蛍光灯の間引き、ＬＥＤ導入 ・エアコンの使用条件励行 ・必要時以外の消灯、スイッチ OFF の意識付け ・設備の稼動集中・効率化 ・パソコン等の省エネモード設定
4	ガソリン使用量の削減	・エコドライブ促進の周知 ・オドメーターの確認 ・公共交通機関の活用
5	軽油使用量の削減	・エコドライブ促進の周知
6	灯油使用量の削減	・ストーブの使用条件励行 ・暖房効率の検討
7	Ａ重油使用量の削減	・ボイラの効率運転 ・蒸気漏れ根絶 ・更なる断熱処理
8	化学物質使用量の削減	・洗浄用途の削減 ・蒸発量の低減
9	グリーン調達の推進	・事務用品のグリーン購入品目の増加
10	製品・サービスにおける 環境配慮	・不良率の低減 ・簡易包装等の推進（数値評価はしない）

６．環境経営目標の実績

項目		単位	基準値 2020の実測値	2023年度 計　画	実　績	達成率(%)
廃棄物	一般(可燃)	総量(t)	13.09	13.09	8.67	151
	廃プラ	原単位(kg/千円)	0.086	0.086	0.072	119
水		総量(㎥)	92,502	92,502	89,698	103
電力	大田原	原単位(千kWh/千円)	1.711	1.660	1.470	113
	本社･営業所	原単位(kWh/百万円)	16.412	15.920	11.648	137
ガソリン	大田原	総量 (L)	4,028	3,907	4,019	97
	本社･営業所	原単位(L/百万円)	2.756	2.673	2.183	122
軽油		総量(L)	3,566	3,459	1,060	326
灯油		総量(L)	18,355	17,804	13,263	134
Ａ重油		原単位(L/千円)	0.284	0.275	0.238	116
グリーン調達	大田原	品目数	57品目	57品目	57品目	100
	本社	品目数	102品目	102品目	102品目	100
製品･サービス(不良低減)		件数	35件	35件以下	10件	350
トルエン		原単位(kg/m)	0.479	0.479	0.223	215
CO_2	電力	(t)	1,067	1,035	1,078	96
	ガソリン		67.2	65.2	72.2	90
	軽油		9.4	9.1	2.8	325
	灯油		45.7	44.3	33.1	134
	Ａ重油		1,189	1,172	1,192	98
	合計		2,479.3	2,325.6	2,378.1	98

・達成率(%)＝計画値÷実績値×100

・原単位の分母は、大田原：加工生産高、本社･営業所：売上高とする。

・電力のCO_2排出量は、令和5年12月22日環境省公表（令和6年7月12日更新）の令和4年度各電力会社の調整後排出係数を適用して各事業所ごとに算出し合算した数値です。

CO_2排出係数：東京電力　0.376kg－CO_2/kWh、中部電力　0.440kg－CO_2/kWh
関西電力　0.420kg－CO_2/kWh、九州電力　0.462kg－CO_2/kWh

７．環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

	項　目	達成率(%)	総合　評価	今後の取組
1	廃棄物の削減			裏紙の有効利用
	一般(可燃)	151（総量）	◎	コピー・プリントの無駄削減
	廃プラ	119(原単位)	◎	不良廃棄物低減を強化
2	水使用量の削減	103（総量）	◎	節水の意識付け
3	電力使用量の削減			省エネ活動の励行
	大田原	113(原単位)	◎	・エアコン使用ルールの励行
	本社･営業所	137(原単位)	◎	
4	ガソリン使用量の削減			エコドライブの周知
	大田原	97（総量）	○	公共交通機関の利用
	本社・営業所	122(原単位)	◎	
5	軽油使用量の削減	326（総量）	◎	エコドライブの周知
6	灯油使用量の削減	134（総量）	◎	暖房使用ルールーの励行
7	Ａ重油使用量の削減	116(原単位)	◎	ボイラの効率運転
8	グリーン調達	100	◎	購入品目の増加
9	製品･サービス	350	◎	不良件数の削減
10	化学物質使用量の削減			トルエン使用量削減強化
	トルエン	215(原単位)	◎	・洗浄用途の削減

注記１：評価記号　◎ 達成率 100%以上

○ 達成率 80%以上～100%未満

△ 達成率 50%以上～ 80%未満

× 達成率 50%未満

次年度の取組

次年度は、中期３年目標の１年目として目標達成に向けて継続して活動する。

今年度は全項目で目標達成できたので、引き続き省エネに重点を置き取り組む。

８．３年間の実績推移

項目		単位	３ヵ年目標	３ヵ年実績推移		
			2023 年度目標	2021 年度実績	2022 年度実績	2023 年度実績
廃棄物	一般(可燃)	(t)	13.09	10.24	8.47	8.67
	廃プラ	原単位	0.086	0.105	0.080	0.072
水		(㎥)	92,502	78,024	81,426	89,698
電力	大田原	原単位	1.660	1.971	1.614	1.470
	本社・営業所	原単位	15.920	18.581	14.620	11.648
ガソリン	大田原	(ℓ)	3,907	4,795	3,652	4,019
	本社・営業所	原単位	2.673	3.255	2.675	2.183
軽油		(ℓ)	3,459	4,875	2,207	1,060
灯油		(ℓ)	17,804	15,275	14,439	13,263
Ａ重油		原単位	0.275	0.316	0.246	0.238
グリーン調達	大田原	(品目数)	57 品目	57 品目	57 品目	57 品目
	本社	(品目数)	102 品目	102 品目	102 品目	102 品目
製品･サービス(不良低減)		(件数)	35 件以下	19 件	19 件	10 件
トルエン		原単位	0.479	0.565	0.241	0.223
CO_2	電力	(t)	1,035	995	1,093	1,078
	ガソリン		65.2	70.4	68.3	72.2
	軽油		9.1	13.0	5.8	2.8
	灯油		44.3	38.0	36.0	33.1
	Ａ重油		1,172	1、084	1,138	1,192
	合計		2,326	2、200	2,341	2,378

・達成率(%)＝計画値÷実績値×100

・原単位の分母は、大田原：加工生産高、本社･営業所：売上高とする。

・電力のCO_2排出量は、令和 5 年 12 月 22 日環境省公表（令和 6 年 7 月 12 日更新）の令和 4 年度各電力会社の調整後排出係数を適用して各事業所ごとに算出し合算した数値です。

CO_2排出係数　東京電力　0.376kg－CO_2/kWh

中部電力　0.440kg－CO_2/kWh

関西電力　0.420kg－CO_2/kWh

九州電力　0.462kg－CO_2/kWh

９．環境関連法規等の遵守状況及び法令違反、訴訟の有無

（１）遵守状況の確認及び評価

適用される環境関連法規等の遵守状況については、適正に行われていることを確認した。

主な環境関連法規は、水質汚濁防止法、騒音規制法、大気汚染防止法、廃棄物処理法、PRTR 法、高圧ガス保安法等があります。

（２）違反、訴訟等の有無

地域住民や関係機関等からの苦情や指摘、訴訟については、過去３年間にわたり無し。

10．代表者による全体評価と見直し結果

（１）環境経営目標達成状況

最終的な総合評価では、大田原製作所でのガソリン使用量で目標を達成できなかったが、97％の達成率であり概ね良好と判断できる。。

CO_2排出量においては、電力、ガソリン、Ａ重油の総量評価で目標値をオーバーしたため、軽油、灯油の使用量を大きく削減できたが、達成率 98％と目標未達となってしまった。

次年度は、新しい取り組みを模索して省エネ活動を行うことにより更なる改善を実施する。

（２）目標、方針等の変更の必要性

来年度は新しく中期３年目標を設定し、環境経営方針、環境経営システムについては変更せず継続して活動する。

今年度に目標を達成できなかった項目を重点的に活動し、来年度は全項目の達成を目標とする。

以 上